

2019年10月25日
商工中金

地域金融機関のSBLC付米国現地法人向け融資第1号案件！ 京都信用金庫と協調し、アルミ加工に特化したHILLTOP株式会社様の 米国現地法人を金融面からサポート

商工中金は、海外の需要を自らの成長に取り込んでいく中小企業に対して、融資だけでなく、多様な金融サービスや各種情報の提供など海外展開に関して総合的に支援しています。

商工中金（京都支店）は、京都信用金庫と協調し、HILLTOP株式会社様（本社：京都府宇治市 代表者：山本 正範氏・山本 昌作氏）の米国現地法人「HILLTOP Technology Laboratory, Inc. 様」に対して、増加する試作品需要に対応するために必要な資金100万USドル（内、50万USドルを短期の資金枠として設定）を商工中金（ニューヨーク支店）から融資しました。なお、本件は、商工中金が地域金融機関から差し入れられたSBLC（信用保証）に基づく米国向け融資の第1号案件で京都信用金庫（※）と提携した案件です。

同社は、試作品や機械装置の製造を行うアルミ加工業者です。独自開発したHILLTOPシステムにより、24時間365日工場を無人で稼働させることができ、航空宇宙分野を始めとする難易度が高く、高精度な仕様を短納期で求められる試作品製造を手掛けています。

今回、同社は、米国スタートアップ企業などの試作品製造ニーズの拡大を受け、米国現地法人へのHILLTOPシステムの導入と工場の拡張を行い、現地での製造能力拡充を図ります。従前、海外から受注した試作品は日本国内にて製造していましたが、今後は現地にて試作品を製造し、国内並みの短納期対応を図ります。

一般的に海外では、本邦中小企業による借入が容易でないケースもありますが、商工中金と京都信用金庫との連携により、為替リスクを抑えた円滑な資金調達をサポートしたものです。

（※）商工中金と京都信用金庫は、2019年1月に海外展開を行う中小企業へのソリューション提供を強化するため「国際業務における連携・協力に関する覚書」を締結しています。

今後も、商工中金は、地域金融機関と連携し、海外に進出されている、または今後進出を検討されている中小企業の金融ニーズに積極的に対応してまいります。

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【HILLTOP 株式会社様の概要】

所在地	京都府宇治市大久保町成手1-30	資本金	3,600万円
代表者	山本 正範様、山本 昌作様	従業員数	125名 (2019年7月現在)
業種	金属機械加工事業、表面処理事業、装置開発事業	設立	1980年9月

【HILLTOP Technology Laboratory, Inc. 様の概要】

所在地	51 PARKER IRVINE, CA, USA	資本金	70万USドル
代表者	山本 勇輝様	従業員数	23名 (2019年10月現在)
業種	金属機械加工事業	設立	2014年4月



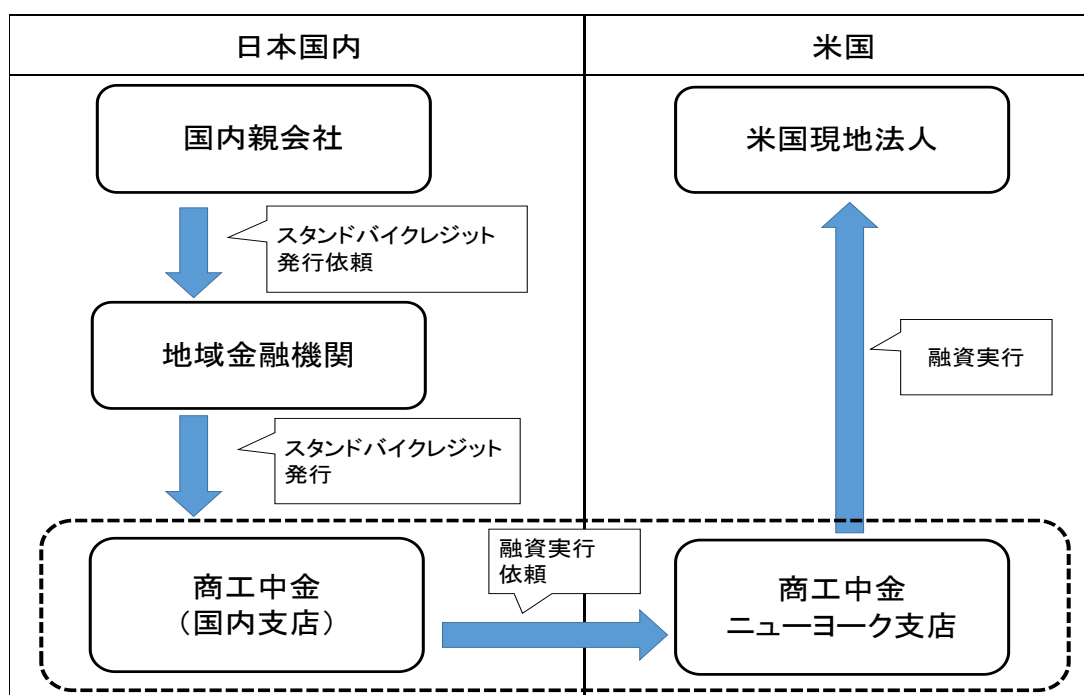
【光学センシング関連部品】



【自動車関連部品】

【スキーム図】スタンバイクレジット (Standby Letter of Credit)

本邦企業の海外子会社が資金調達を行う場合に、本邦企業の取引銀行が、資金調達銀行に対して差し入れる信用状形式の保証書。



*北米 (米国、カナダ、メキシコ) においては、当金庫ニューヨーク支店が実行店となります。アジアにおいては、当金庫国内営業店を実行店とするスキーム (非居住者向け貸付) も取り扱っています。